

<研究名称>

交叉性失語症を呈した一症例の回復過程

<実施責任者>

リハビリテーション 言語聴覚士 中澤 肇

<研究期間>

倫理審査委員会承認後から2年間

<研究の目的・意義>

交叉性失語症は異常型と鏡像型が存在するが、その症状は多様であり、一症例の詳細な回復過程を検証することは臨床的に意義深い。今回、交叉性失語症を呈し、回復が良好であった症例を経験したので回復過程を考察し、旭川赤十字病院医学雑誌に投稿する。

<実施内容（方法）等>

SLTA や SALA、その他神経心理学的検査結果を後方視的、経時的にまとめる。

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 リハビリテーション 技師長 木村 和久

実施担当者 リハビリテーション 言語聴覚士 中澤 肇

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 リハビリテーション 中澤 肇

TEL 0166-22-8111 FAX 0166-24-4648